

金山里山の会

射水南部丘陵地に位置する金山地域は、昔からキノコの群生地として知られていたが、50年の年月の経過とともに森林は荒廃の一途をたどり、森林環境の変化によりキノコの発生は顕著に少なくなっている。

このため、かつての豊かな里山に再生すべく、第一のステップとしてキノコが発生しやすい森林環境に整備する取り組みから歩み出すために、この会を設立しました。

この会の活動は、キノコ生息地探索や森づくり勉強会、不要木竹の除間伐などによる竹の子やキノコなどの生産イベントの開催などを行い、森林環境の整備に努めています。



歩道の草刈り作業



「きのこ研究やま」の看板設置



里山林の再生（雑木をチップパー機で粉砕）



里山林の再生（冬仕事）



山仕事中の交流会



里山林体験研修（シイタケ原木の生産）



里山林の再生（運搬車による集材作業）



シイタケの原木に植菌しています。



里山林再生への説明



民間企業の体験研修（薪割り）



シイタケの植菌体験

（活動場所：射水市青井谷地内の「山林」）